

関東大会の思い出

私が獲得した唯一の神奈川県タイトル、それは、西湘高校3年生の時に獲得した関東大会予選兼春季神奈川県大会です。

西湘高校の受験日、最初の衝撃がありました。中学時代の選抜選手のほとんどが同じ会場にいるのです。合格してもいないのにもうワクワクした気持ちでいっぱいでした。

晴れて入学を迎えサッカー部に入部した時は、30名以上いる事に驚きました。その中に受験であった仲間達がいた事に安心しました。

しかし、厳しい練習の中でひとり、またひとり退部し、1年が終わる時には、15名になっていました。それでも選抜で一緒にやっていた選手は、誰一人脱落しませんでした。日々厳しい練習の中で、このチームなら絶対に強くなれるという、確信が皆にあったからだと思います。

3年生が引退してから新しいチームになり、西湘は当時、地区では無敵になっていました。ただ、私自身はその波から乗り遅れていました。(実はいわゆる謹慎処分を受けていました)それでもチームメートは、常に私の事を気遣い励ましてくれました。その心遣いに絶対に応えなければという気持ちは、私を選手としてだけでなく人として成長させてくれました。(後日談ですが、謹慎処分は、監督という立場と教師という立場での私に対する最後の賭けだったそうです。相当問題児だったようです。)

準々決勝の対旭高校戦。先制点を挙げた西湘は、後半GK市川達也君が負傷退場してしまいます。残り時間を一番身長が大きい私がキーパーをする事で乗り切ろうとしたのですが、失敗してしまいます。同点にされてしまい延長戦になってしまいました。延長は無得点のまま、PK合戦へ突入します。延長戦ではフィールドプレーヤーに戻っていた私ですが、PKでは再びGKになりました。西湘は5人全員成功しましたが、旭も誰一人失敗しません。そして6人目。西湘が成功したのに対し、旭のキッカーを私がストップするという劇的な勝利を収めることができたのです。

日大高校との決勝戦は、この勢いのままに点差は1対0でしたが、私達としては完勝と言える内容でした。

こうして私達は関東大会の切符を手に入れることができたのです。

関東大会では、残念ながら一回戦で浦和西高校に敗けてしまいましたが、この経験は今でも大切な思い出です。

ただ残念な事は、数年前関東大会のパンフレットを見た時に、西湘の文字が間違っていました。今後の西湘そして小田原地区のさらなる活躍を期待しています

40歳になった今年、かつてのチームメートと共に西湘WINGSに登録しました。また一緒に試合ができることはこの上のない幸福です。

小田原サッカーに携わる一員として、西湘WINGSに貢献する事が今後の私の役割だと思っています。

亀田 明 広